

進んで学ぶ時津っ子

時津小学校 時津北小学校
時津東小学校 鳴鼓小学校
時津中学校 鳴北中学校
時津町教育委員会



保護者の皆様へ

～子どもたちに「確かな学力」を～

子どもたちが生きていくこれからの時代は、変化が早く、予測するのさえ難しいと言われてしています。今までの正解がこれからも正解か、だれにも分かりません。

そうになると、子どもたちには、正解を見つけたり覚えたりする力だけでなく、自分の考えをもち、人と協議・検討し、よりよい答えを創り出す力が求められます。この力は、学校でも家庭でも育まないと、なかなか身に付くものではありません。

そこで、「時津っ子の教育」に携わる、時津町立小・中学校6校、並びに時津町教育委員会は、次のような願いを持ち、令和5年3月に、第4訂版となる「学習の手引き」を作成しました。

- 時津っ子に、自分の考えをもち、人と議論することのできる知識や技能を身に付けさせたい。
- 時津っ子に、望ましい生活や学習習慣を身に付けさせたい。
- 時津っ子に、進んで学習に取り組む意欲や態度を育てたい。
- 学校での学習と家庭での学習を、効果的に結びつけたい。
- 時津っ子が、中学校進学時に抱くかもしれない生活や学習上の不安を、少しでも取り除きたい。
- 家庭と小・中学校がつながり合って、時津っ子の健やかな成長の実現を図りたい。

この冊子の中には、保護者の皆様へ向けたご説明やお願いなどもかかげております。ぜひお子さんといっしょにご覧いただき、内容や方向性についてご理解いただきますとともに、励ましのお声掛けやアドバイスをしていただきますようお願いいたします。

この冊子が、各ご家庭と町内小・中学校を結ぶ架け橋となり、今後ますます連携を深めながら「時津っ子の教育」に取り組んでいけますようお願いしております。

もくじ

…子どもよう

…保護者用

I 「早ね・早起き・朝ごはん」～今日も元気な時津っ子～

1 生活リズムについて	P1	1 生活リズムを整えさせていますか？	P3
2 朝の準備について		2 適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？	
3 家庭学習のじゅんぴについて	P2	3 お子さんが学習する環境は整えられていますか？	P4
4 テレビや動画、ゲームのやくそくについて		4 テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？	

II 「家庭学習のしかた・計画の立てかた」

1 勉強する前に、気を付けておこう	P5	1 家庭学習の意義を考えましょう	P7
2 時間をきめて勉強しよう		2 家庭学習の基本をふまえましょう	
3 どんな勉強ができるかな？	P6	3 学習への正しい取り組み方を身に付けさせましょう	P8
4 勉強が終わったら、明日の用意をしよう！	P9	4 子どもが身に付けるべき内容を、把握しましょう	P10

III 「学習の^{やくそく}約束」

1 授業前	P11
2 授業中	
(1) 学習道具の使い方	
(2) 学習に向かうしせい・たい度	P12
(3) 学習中の話し方	
(4) 学習中の聞き方	P13
(5) 学習中の書き方	
3 授業後	
4 ノートの取り方	

～子どもが 見るところ～

I 「早ね・早起き・朝ごはん」

～今日も 元気な 時津っ子～

1 生活リズムについて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
すいみん不足になると、体の成長がおさえられ、集中力がなくなり、いざだんはがんばれることでも、がんばれなくなります。 毎日、8時間から10時間くらいのすいみん時間をとりましょう。			
○ ねる時こくと、おきる時じこくを、 家の人ときめて、毎日時間どおりに生活した。 ○おきる 時こく 午前 <input type="text"/> 時 ○ねる 時こく 午後 <input type="text"/> 時	3年		
	4年		
			

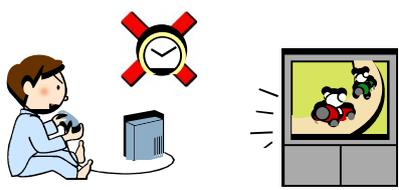
2 朝のじゅんびについて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① ごはんやパンだけでなく、  おかずも食べた。	3年		
	4年		
② 朝ごはんを食べはじめる時こくを決め、守った。 午前 <input type="text"/> 時	3年		
	4年		
③ 朝から、家でうんちをした。	3年		
	4年		

3 家庭学習のじゅんびについて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① テレビやYouTube、音楽、スマートフォンなどをけして、学習しやすいかんきょうをつくった。	3年		
	4年		
② 学校の宿題を、わすれずに持って帰った。	3年		
	4年		

4 テレビや動画、ゲームのやくそくについて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① テレビや動画を見たり、ゲームをしたりする時間を決め、守った。	3年		
	4年		
<p>○3年生 <input type="text"/> 時間</p> <p>○4年生 <input type="text"/> 時間</p>			
			
<p>※ 生活リズムや学力、視力などへのえいきょうを考えると、テレビやYouTubeを見たり、インターネットやスマートフォンを使ったり、ゲームをしたりする時間は、全部合わせて1日2時間までです。</p>			

I 「早寝・早起き・朝ごはん」

～今日も 元気な 時津っ子～

1 生活リズムを整えさせていますか？

学習効果を上げるために大切なものの一つに、睡眠時間があります。就寝時刻が遅いと起床時刻も遅くなり、朝食をとることができない等、一日が時間的・精神的に慌ただしくなります。そうならないためには、帰宅後の生活リズムを整え、適切な睡眠時間をとるようにすることが大切です。



また、睡眠不足は、学習への集中力を減退させ、学力向上の妨げとなるばかりでなく、体内時計をくるわせ、通常なら乗り越えられる課題もできなくさせると言われています。

常に、心と頭と体がスッキリした状態がつかれるよう、規則正しい生活リズムを維持させてください。

以下は、小学生の睡眠に関する目安です。お子さんはいかがですか？

小学生の睡眠時間	小学生の就寝時刻	小学生の起床時刻
8時間～10時間	午後8時～10時	午前6時～7時

2 適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？

文部科学省の調査によると「朝ごはんを食べないことがある小学生の割合」(令和4年度全国学力・学習状況調査)は、時津町の小学生 12.1% (全国 15.1%) という結果が出ています。

また、同じ調査で「朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係」の結果を見ると、毎日朝食を食べる子どもの方が、平均正答率が高い傾向にあります。これは、学力の向上には、朝食の「栄養」とそれを準備して下さる「保護者」、そして決まった時刻に起きる「子ども」の三者が、互いにかかわりあっていると考えられます。

また、成長期にある子どもの、よりよい脳の発達のためには、食事の栄養バランスも欠かせません。家庭の責任として、学びの土台をつくるにふさわしい朝食をとらせ、家庭で落ち着いて排泄させたうえで、すっきり元気に登校できるようにしましょう。



- ① 朝ごはんを食べる時刻を決めさせる。
- ② 主食（ご飯やパン）とおかずの栄養バランスのよい朝食を準備する。
- ③ 家庭で排泄する時間を確保できるよう、登校時刻から逆算して起床させる。

3 お子さんが学習する環境は、整えられていますか？

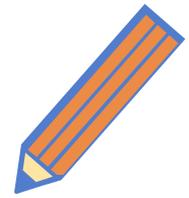
子どもが集中して学習に取り組んでいくためには、意識が遊びに向かわないような環境を整えることが大切です。特に、低学年の子どもは集中が途切れやすいので、十分な配慮が必要です。

また、まだ子どもが自分の力だけで全てを整えることはまだ難しいので、次の点に留意してください。

- ① テレビやパソコン、ゲーム、スマホ等の画面を消し、学習に集中できるようにする。
- ② スマホや遊び道具、ゲーム等は、手の届かない所、見えない所に置く。
- ③ 机やテーブル等、じっくり落ち着いて学習できる場所をつくる。
- ④ 学習前に、必要な道具（鉛筆・消しゴム・教科書・ノート等）を準備させる。
- ⑤ 学習内容を基に、学習時間や終了時刻を大まかに決めるようにする。

（例 △時△分までに、□□を終わらせる。）

- ⑥ 書いたり声に出したりするだけでなく、意味を理解しながら学習するよう意識させる。
- ⑦ 保護者が途中で声をかけ、子どもの学習の状況に関心を示す。
 - ・最初は、隣に座って正しい学習の仕方や内容を教える。
 - ・慣れてきたら隣に座らず時折声をかけ、学習の進め具合や理解度を確かめ、賞賛する。
- ⑧ できた理由、できなかった理由、どうすればできるかについて、言葉で振り返らせる。



4 テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？

テレビを見る時間に加え、インターネットを介したゲームや動画アプリを長時間利用している子どもは、就寝時刻が遅かったり、家族との会話が少なかったりする傾向にあります。

また、インターネットの利用を子どもに任せていると、インターネット上のいじめやそれをきっかけとした事件に巻き込まれるケースも増えることが報告されています。

国は、子どもに携帯電話等を持たせるかどうかの判断と管理は、保護者が行うよう定めています。インターネットを利用できる機器を保護者の責任として持たせる場合は、いじめや事件に巻き込まれないよう、右下のQRコードから読み取った資料を参考にしながら、子どもと一緒にルールを決めましょう。



また、読書は、考える力や思いやりの心、豊かな感性を育みます。

インターネットの適切な活用を促しつつ、読書（家読）に親しむ時間も割くことができるよう、家庭での過ごし方を工夫しましょう。



Ⅱ かてい学習のしかた・計画の立てかた

1 勉強する前に、気を付けておこう

- いつ、どのくらいの時間、勉強するかをきめよう。
時間をきめて勉強をすれば、しゅう中することができ、勉強したことが、頭の中にしっかり入ってきます。

- 勉強する場所をきめよう。
いつも同じ場所で勉強すれば、せきにつくことで気持ちのスイッチが切り替わり、頭の中に入りやすくなります。

- どんなじゅん番で勉強するかをきめよう。
勉強をはじめる前に、勉強するじゅん番をきめましょう。
見通しがたつと、やる気が出て、早く終わります。
- とちゅうでやめず、さい後まで終わらせよう。
わからないところは、教科書やノートを見直したり、おうちの人に聞いたりしましょう。
とちゅうであきらめないで、さい後までがんばりましょう。

2 時間をきめて勉強しよう。

おうちの人とそうだんして、1時間いじょう取り組んでみましょう。

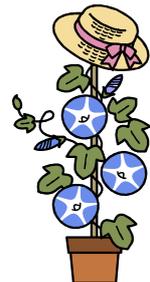
3 どんな勉強ができるかな？

(1) 先に宿題を終わらせよう。何があったかな？

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① 宿題は、毎日とりくんだ。	3年		
	4年		
○「かん字」の宿題はないかな？ ・習った字をていねいにくり返し書いてみよう。 ・かん字の意味を考えながら書いてみよう。 ○算数の宿題はないかな？ ・時間をきめて、「はやく」「正しく」といてみよう。 ・むずかしいところは、おうちの人に聞いてみよう。 ○音読の宿題はないかな？ ・「、」や「。」に気をつけて、すらすら読めるように練習しよう。 ○日記の宿題はないかな？ ・「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」を考えて書こう。 ・自分の思いや考えを入れて書こう。			

(2) ほかにもできることがあれば、やってみよう！（自主学習）

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① 宿題以外の学習（自主学習）に取り組んだ。	3年		
	4年		
② 読書をした。（1週間に 冊 ） ・毎日どのくらい読むか決めるといいよ。	3年		
	4年		
○今日あったことを、日記に書いてみよう。 ・何かになりきって書くのもおもしろいよ。 ○生き物のお世話をして、様子をかんさつしてみよう。 今日は元気かな？かわったことはないかな？			



Ⅱ 家庭学習の仕方・計画の立て方

1 家庭学習の意義を考えましょう

子どもたちは、学習内容のほとんどを、学校で学べます。それなのになぜ「家庭学習」が必要なのでしょう。

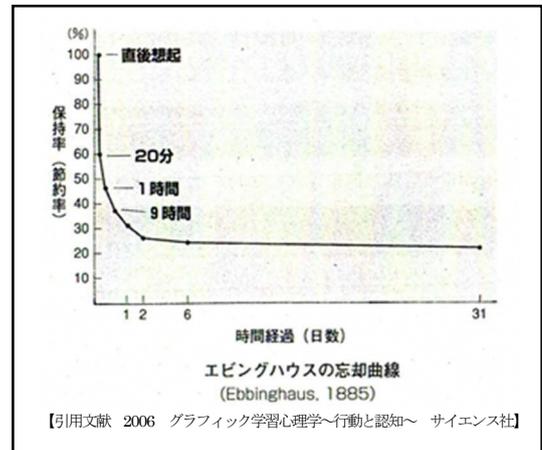
右のグラフは「忘却曲線」と言い、覚えたことを忘れていく様子を表したものです。

このグラフからも分かるように、人は、せっかく覚えても、何もしなければ、どんどん忘れてしまいます。

「長期記憶」といって、完全に記憶できた状態になるには、一度に長時間かけて詰め込むのではなく、学習直後、1日後、1週間後、1か月後と、間を空けて復習するのがよいとされています。復習の時間は短くて構いません。また、単に「作業」として学習するよりも、「意味を考えながら」学習した方が定着しやすいことも分かっています。

記憶の定着は個別に差があるため、このような学び方は、家庭の方が向いています。

つまり、家庭学習は「学んだことを定着させるために、欠かせない取組」ということです。



2 家庭学習の基本をふまえましょう

家庭学習に取り組ませる際、次のような点を子どもに踏まえさせて支援していきましょう。

① 決めた時刻に、決めた場所で取り組む

勉強を始める時刻を自分で設定させ、いつも同じ場所で勉強させるようにすると、自発的に効率よく学習ができるようになります。

② 「ながら学習」をやめる

何かをし「ながら」学習をするという方法は、気が散り、効果的ではありません。集中力を高めるためにも、「ながら学習」をしないように心がけさせましょう。

③ 見通しを立てる

「〇〇の学習を〇時までにはやり終える」等、あらかじめ計画を立ててから取り組ませるようにすると、集中力がアップします。

④ あきらめずに最後まで取り組む

学力を身に付けるためには、ねばり強さも必要です。つまづきが見られた場合は、具体的に、どの部分がどのように分からないのかははっきりするまで取り組ませてください。

また、その部分を、先生に伝えるように促してください。

中学年の勉強時間は、1時間以上が目安です。子どもと相談しながら、取り組む内容に応じた適切な時間配分を示してあげましょう。

3 学習への正しい取り組み方を身に付けさせましょう

中学年は「自分でやりたい」という意識が高まる時期です。学校から出た宿題を保護者が把握し、その上で、他の学習内容や時間配分などを子どもに決めさせましょう。

また、中学年は低学年で身に付けた家庭学習の仕方や約束などが雑になりがちです。丁寧さも大切にしつつ、学習の目的を意識することで、一人で学習できるよう習慣化させましょう。

ただ、一人で学習できるようになっても、学習している子どもの様子に関心を示し、時折声をかけながら、学習状況をしっかり確かめましょう。

〈宿題におけるかかわり〉

- 内容を確認めて
 - ・中学年では、多くの場合、「国語(漢字・音読)」「算数(計算)」の宿題が出されます。それらの内容を確認めましょう。
- 国語の学習
 - ・文字の宿題は「正しく・丁寧に」書くよう心がけさせましょう。特に中学年では、新出漢字が多く、400字近くあります。漢字の筆順や意味、熟語や使い方等についても、しっかり確認させてください。
 - ・音読は、大きな声で、はっきりと、すらすら読めるようにしましょう。句読点で区切り、最初はゆっくり、徐々にペースを上げて読ませましょう。抑揚をつけることができれば、読解力の高まりにつながっていきます。
- 算数の学習
 - ・中学年は、低学年の学習を土台とした学習がなされます。つまずきが多い場合は、低学年の学習に戻って確かめさせましょう。
 - ・文章題では、問題の意味を考えさせましょう。言葉での説明が難しい場合は、図をかかせてみましょう。「意味が分かる＝図がかける」です。意味が分かれば式を立てられます。
 - ・コンパスや分度器を使った作図等にも挑戦させてみましょう。

〈宿題以外のかかわり〉

- 日記は「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」を明確にして書かせましょう。慣れてきたら、その時の気持ちや場面の様子を詳細に書いたり、時間にそって書いたりすることにも挑戦させましょう。
- 読書は、低学年で習慣化していれば、そのまま継続させましょう。習慣が身に付いていない場合、本探しから始めさせてください。そして、わずかな時間でも構わないので、本を読む機会をつくってみましょう。大人が読書をする姿を見せるのは、非常に効果的です。ぜひ、家読(うちどく)に挑戦してみましょう。
- 子どもが始めた生き物の世話は、責任感を育むために、基本的には子どもにさせましょう。
- 工作・製作や料理等に取り組むときは、子ども自身の意欲を大切に、できるだけ手を出しすぎないようにしましょう。安全に配慮しながらも、経験させることがとても大切です。
- 上記以外にも取り組めることが数多くあります。中学年は新しいことをやりたがるので、どんどん挑戦させましょう。ただ、やりっぱなしにならないよう継続させることも大切です。

～子どもが 見るところ～

4 勉強が終わったら、明日の用意をしよう！

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△	4月	月	月
① 前日までに、次の日の時間割を見て じゅんびをした。	3年		
	4年		
② 明日使う物を、ランドセルに入れた。	3年		
	4年		
③ ハンカチ、ティッシュ、名札をわすれずに 持ってきた。	3年		
	4年		



最後に ① ② ③ チェックをしよう！

① しゅくだい 宿題や じしゅがくしゅう 自主学習は？

② 明日の用意は？

③ とくべつ 特別の用意は？

(月曜日の用意・図工や書写の用意 など)



4 子どもが身に付けるべき内容を、把握しましょう

○ 子どもが、その学年で学習して身に付ける内容を御存知ですか？それを保護者の方が把握しておけば、家庭学習において何ができるようになればよいのか、そのために何に取り組ませればよいのか分かり、効果的な家庭学習が行えます。また、前学年で学んだ内容を確実に身に付けておくことは、次学年で学ぶ内容の理解に深く関係します。その点も踏まえておきましょう。

以下に、国語・算数の主な学習内容を挙げます。

		2年	3年	4年
国語	文字	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の配当漢字を全て読み、8割を書くことができる。 ○ 前学年までに学習した漢字を書くことができる。 		
	書く	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつ・どこで・だれが・何をした」ということを、時間を追って書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつ・どこで・だれが・何を、どうした」ということを時間を追って書くことができる。 ○ 文の組み立て方や句読点に気を付けて書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのようにした」ということを、詳しく時間を追って書くことができる。 ○ 文の組み立て方や句読点に留意して書くことができる。
	言語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主語と述語の区別をつけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主語・述語・修飾語の区別をつけることができる。 ○ 国語辞典の使い方が分かり、意味を調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字辞典の使い方が分かり意味を調べることができる。 ○ ことわざや慣用句の意味が分かる。
	音読	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の物語・詩などを、声に出して、すらすら音読することができる。 ○ 意味が分かるように、句読点や文節で区切って音読することができる。 ○ 話の流れに応じて、読み方を変えることができる。 		
算数	数・計算	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九九をスムーズに唱えることができる。 ○ 2桁のたし算・ひき算がスムーズにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 億までの数・小数・分数の意味が分かり、簡単な小数・分数の足し算・引き算ができる。 ○ 3桁のたし算・ひき算や、2桁×2桁の計算がスムーズにできる。 ○ わり算の意味が分かり、計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少数第3位までの足し算・引き算ができる。 ○ 帯分数を含んだ同分母の分数の足し算・引き算ができる。 ○ およその数について理解し、生活の中で概数を用いることができる。
	量・図形	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長さの単位を使って、正しく線を引いたり測ったりすることができる。 ○ 水のかさの単位について理解することができる。 ○ 時計・時刻について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンパスの使い方が分かり、簡単な図形を描くことができる。 ○ 長さ・重さの単位について理解することができる。 ○ 時間の概念について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平行・垂直を理解し、平面図形や立体図形について理解し描くことができる。 ○ 面積の意味を知り正方形・長方形の面積を求めることができる。 ○ 角度について理解することができる。

～子どもが見るところ～

Ⅲ がくしゅう 学習の約束

保護者の皆様へ

学校では、次のような学習の約束をしています。御家庭でも子どもと一緒に確認してください。

1 授業前

○ 学習道具を かくにんしよう！ 〈筆箱の中に入れるもの〉

- 赤色と青色のえんぴつ（ペン）
- とがったえんぴつ 本
- じょうぎ （ ）
- 消しゴム （ ）
- ネームペン （ ）



- 勉強に関係のないものは、入れません
- 下じきも、毎日もってきましょう。

2 授業中

(1) 学習道具の使い方

- ① えんぴつを、正しくもって書きます。
- ② 下じきを必ず使って、ノートをとります。
- ③ ノートは、見開きにおいて使います。
- ④ ノートには、日付を書きます。
- ⑤ 文字は、マスの中にしっかりとした大きさを書きます。
- ⑥ ノートは、ページをとばさないように使います。
- ⑦ ノートは、やぶりません。
- ⑧ 紙がやぶけないように、ノートを押さえて消しゴムを使います。
- ⑨ 線は、じょうぎを使ってまっすぐ引きます。
- ⑩ プリントは、かどをそろえてきれいに折ります。
- ⑪ はさみは、安全に気をつけて、ていねいに紙を切ります。
- ⑫ のりは、うすくのばして使います。
- ⑬ コンパスや三角じょうぎは、安全に気をつけて正しく使います。



(2) 学習に向かうしせい・たい度

- ①しっかり、話を聞いて考えます。
- ②発表する時は、まっすぐ手を挙げます。
- ③大きな声で、返事や発表をします。
- ④教科書やノートを読む時は、両手で持って読みます。
- ⑤文字や数字は、ていねいに書きます。
- ⑥せすじを伸ばして、きちんといすにすわります。
- ⑦足をブラブラさせたり、シューズをぬいだりしません。
- ⑧机やいすを、きちんとならべます。



(3) 学習中の話し方

話す	<ul style="list-style-type: none"> • わたしは～だとおもいます。そのわけは～だからです。 • ～の説明をします。
しつもん	<ul style="list-style-type: none"> • ○○さんに しつもんが あります。 • ～がわからないので、くわしく説明してください。
同じとき ちがうとき	<ul style="list-style-type: none"> • ○○さんと同じで、わたしも～だと思ひます。 • わたしは○○さんとちがって、～だと思ひます。
つけ加え	<ul style="list-style-type: none"> • ○○さんの意見につけ加えて、わたしは～だと思ひます。 • ○○さんはこう言ひましたね。それにつけ加えて、～だと思ひます。

(4) 学習中の聞き方

- ①しせいをよくして、話をしている人を見ます。
- ②うなずいたり、反応したりしながら聞きます。
- ③自分の考えや理由と、同じかちがうか、くらべながら聞きます。
- ④つまりどういうことか、例えばどういうことか、考えながら聞きます。
- ⑤わからないことはしつもんします。

(5) 学習中の書き方

- ①速く書くときとていねいに書くときを区別して、書き分けられるようにします。
- ②考えを書いたり黒板をうつしたりするときは、近くにコツやポイントもメモします。
- ③文章で書くのがよいか、言葉を図や矢印で結ぶのがよいか、場面によって区別します。
- ④学習のまとめやふり返りを自分の言葉でしっかり書きます。

3 授業後

- ① 次の時間の学習道具を、机の上に出して、じゅんびしておきます。
- ② トイレをすませ、1分前には席に着きます。

4 ノートの取り方

- (1) 日づけと教科書のページ、問題番号などを書く。
- (2) めあて・まとめは、色分けをして、じょうぎを使って線でかこむ。
- (3) さい後に、学習の感想やポイントを書く。

アップ(分かることと分からないこと)
 ルーズ(分かることと分からないこと)
 五(六)答え
 四(六)答え
 三(六)答え
 二(六)答え
 一(六)答え

第四段落からの段落の関係を整理し、筆者の説
 明の工夫を考えよう。

第四段落 ↓ アップでとると細かい部分の様子か
 く分かります。
 走っている選手以外の、うつされてい
 ない多くの部分のことは、アップでは
 分かりません。

第五段落 ↓ ルーズでとると、広いはんいの様子か
 よく分かります。

各選手の顔つきや視線、それらから感
 じられる気持ちまでは、なかなか分か
 りません。

対比すると二つのことの方がいはっきりして分
 かりやすくなるということが分かりました。

さい後に、感想を
書きましょう。

色をつけると
見やすいですね。

答えには、線を
引きましょう。

1箱(2本)入りのえん筆
が4箱あります。えん筆は
全部で何本ありますか。

式 2×4

2けた×1けたの計算の
しかたを考えよう。

見 $10 \times 4 = 40$
40より多い

考

12	① $10 \times 4 = 40$
\wedge	② $2 \times 4 = 8$
102	③ $40 + 8 = 48$
	答え 48本

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-	=						
①	2けた×1けたの計算は かけられる数を十の位と一 の位に分けて計算するとよ い。																	
②	13×4																	
③	<table border="0"> <tr> <td>13</td> <td>① $10 \times 4 = 40$</td> </tr> <tr> <td>\wedge</td> <td>② $3 \times 4 = 12$</td> </tr> <tr> <td>103</td> <td>③ $40 + 12 = 52$</td> </tr> </table>												13	① $10 \times 4 = 40$	\wedge	② $3 \times 4 = 12$	103	③ $40 + 12 = 52$
13	① $10 \times 4 = 40$																	
\wedge	② $3 \times 4 = 12$																	
103	③ $40 + 12 = 52$																	
④	答え 52																	
⑤	<p>友だちと話し合っで十の 位と一の位に分けること に気づきました。次は、3 けた×1けたの計算にもち ょうせんしてみたいです。</p>																	

いつもココロに 五つのしおり

あいさつを
大きな声でします。



へんじを
はっきりいいます。



はきものを
きちんとそろえます。



まわりを
いつもきれいに
します。



時間を
きちんとまもります。



「進んで学ぶ 時津っ子」

平成23年12月 初版発行
平成26年 3月 第1回改訂
平成29年 3月 第2回改訂
令和 2年 3月 第3回改訂
令和 5年 3月 第4回改訂

発行者 時津町教育委員会
「進んで学ぶ時津っ子」作成協議会
時津小学校 時津北小学校
時津東小学校 鳴鼓小学校
時津中学校 鳴北中学校

時津町立_____小学校

3年_____組_____番

4年_____組_____番

名前